

2026年1月15日

各 位

会社名： ノーリツ鋼機株式会社
代表者名： 代表取締役CEO 岩切 隆吉
(コード：7744 東証プライム市場)
問合せ先： 取締役 CFO 横張 亮輔
(TEL：03 - 3505 - 5053)

センクシア株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

ノーリツ鋼機株式会社（以下「当社」）は、本日開催の取締役会において、センクシア株式会社（以下「センクシア」）の株式を取得し、子会社化すること（以下「本件」）を決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社は、2025年2月14日に公表した「中期経営計画FY30」（以下「中計FY30」）において、「No.1/Only1」を創造し続ける事業グループ」をVisionとして、既存事業のオーガニック成長に加え、周辺事業及び新領域へのM&Aによる非連続な成長を掲げ、経営を推進しております。

本件は、新たな成長の柱を構築する「新領域」への投資であるとともに、当社「部品・材料」セグメントの周辺領域を拡張する事業としても位置付けられます。

センクシアは、建築構造部材及びフロア部材の分野等において、長年にわたり培われた確かな技術力と信頼を基盤に、数多くの「No.1/Only1」製品を有しております。同社は、自然災害の激甚化やインフラ老朽化といった社会的課題に対するソリューションを提供するだけでなく、半導体産業をはじめとする企業の設備投資増大に伴うクリーンルームやデータセンター需要にも応えており、その事業は現代社会にとって欠かすことのできない役割を担う、高い魅力度を有しております。また、これらの需要を背景とした市場成長が見込まれる分野において、同社の製品群は今後も持続的な需要拡大が期待されています。

当社は、本件を通じて、グループ全体の成長を加速させるとともに、中計FY30における重要な指標であるROE（自己資本利益率）等の向上を実現し、持続的かつ安定的な株主還元の強化につなげまいります。また本件は、グローバル展開が進む当社グループにおいて、売上収益に占める海外比率の高い当社経営における有効なリスクヘッジとなり、事業ポートフォリオのさらなる盤石化に寄与します。

【センクシアについて】

1960年代から建築構造・フロア部材のパイオニアとして歩み続けるセンクシアは、「フリー・アクセス・フロア」というカテゴリー言語を生み出し、60年以上にわたり業界のスタンダードを築き上げてきました。同社は、売上高の約80%を市場シェアNO.1の製品が占めるという独自性の高い技術力を保有しており、フロア事業では、床上から什器を耐震固定できる業界唯一の製品「ラクロック」や、埋込レールによりサーバーラックを直接固定する業界初の「フリーラックフロア」を提供し、現代のデータセンター・オフィスに欠かせないインフラを支えています。

また、構造・耐震分野においてもその革新性は際立っており、露出型柱脚で業界初の標準化製品として発売された「ハイベース工法」は、長年にわたり建築構造の安全性を支える基盤技術として多くのお客様にご愛顧をいただいており、梁貫通孔の耐力評価方法を国内で初めて確立した「ハイリング」も、設備計画の自由度と構造安全性を両立する画期的な製品として定着しています。さらに、工場の操業停止ゼロを可能にする業界初の無溶接耐震補強技術「スマートアタッチ」等を展開し、顧客のビジネスを止めることなく建物の長寿命化を実現しています。加えて、ビルやホテル、スタジアム、ショッピングモールなどで幅広く採用されている免震製品でも安心・安全な空間づくりに貢献しています。

2. 異動する子会社の概要

| | | | |
|--------------------------|----------------------|------------|--|
| 名 称 | センクシア株式会社 | | |
| 所 在 地 | 東京都港区東新橋二丁目3番17号 | | |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 林 雄一 | | |
| 事 業 内 容 | 建材機器の製造・販売及びそれらの関連工事 | | |
| 資 本 金 (2025年12月31日現在) | 5億円 | | |
| 設 立 年 月 日 | 2022年2月21日 | | |
| 上場会社と当該会社 と の 間 の 関 係 | 資本関係 | 該当事項はありません | |
| | 人的関係 | 該当事項はありません | |
| | 取引関係 | 該当事項はありません | |

当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 【日本基準】

| 決 算 期 | 2023年3月期 単体 | 2024年3月期 単体 | 2025年3月期 連結 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 純 資 産 合 計 | 24,836百万円 | 27,208百万円 | 29,256百万円 |
| 総 資 産 合 計 | 66,133百万円 | 65,449百万円 | 75,965百万円 |
| 売 上 高 | 32,761百万円 | 34,200百万円 | 35,413百万円 |
| 営 業 利 益 | 5,494百万円 | 5,003百万円 | 5,134百万円 |
| 経 常 利 益 | 4,725百万円 | 4,394百万円 | 4,071百万円 |
| 当 期 純 利 益 | 3,749百万円 | 2,372百万円 | 2,122百万円 |
| E B I T D A | 7,666百万円 | 8,447百万円 | 8,615百万円 |
| 調整後 E B I T D A | 8,150百万円 | 8,971百万円 | 9,194百万円 |

※調整後EBITDAは、非経常的な一過性損益等を調整したものであり、当社の事業EBITDAとは異なります。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) LSF XI Senqcia Designated Activity Company

| | | | |
|----------------------------------|--|--|--|
| 名 称 | LSF XI Senqcia Designated Activity Company | | |
| 所 在 地 | Fitzwilliam Court, Leeson Close, Dublin 2, D02 YW24, Ireland | | |
| 設 立 根 拠 等 | アイルランド法 | | |
| 組 成 目 的 | 持株会社としての株式保有を含む、あらゆる種類の金融資産の取得、保有及び売買 | | |
| 組 成 日 | 2022年2月8日 | | |
| 出 資 の 総 額 | (ファンド側の守秘義務の観点から非開示としております) | | |
| 出 資 者 ・ 出 資 比 率 ・ 出 資 者 の 概 要 | (ファンド側の守秘義務の観点から非開示としております) | | |
| 業務執行組合員の概要 | 名 称 | Ros Woodcock, Sarah Quigley | |
| | 所 在 地 | Fitzwilliam Court, Leeson Close, Dublin 2, D02 YW24, Ireland | |
| | 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名 | Director Ros Woodcock Director Sarah Quigley | |
| | 事 業 内 容 | ファンドの運営・管理 | |
| | 資 本 金 | (ファンド側の守秘義務の観点から非開示としております) | |
| 国 内 代 理 人 の 概 要 | 該当事項はありません | | |
| 上場会社と当該 ファンドとの間の関係 | 上 場 会 社 と 当 該 フ ア ン ド と の 間 の 関 係 | 当該ファンドとの間には、記載すべき資本関係・ 人的関係・取引関係はありません | |
| | 上場会社と業務執行組合員との間の関係 | 当該業務執行組合員との間には、記載すべき資本 関係・人的関係・取引関係はありません | |
| | 上場会社と国内代理人との間の関係 | 該当事項はありません | |

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

| | |
|------------|----------------------------|
| 異動前の所有株式数 | 0株 (議決権所有割合 0%) |
| 取得株式数 | 488,200株 (議決権所有割合 100%) |
| 取得価額 | 690 億円 (概算、アドバイザリー費用含む) |
| 異動後の所有株式比率 | 488,200株 (議決権所有割合 100%) |

5. 株式の取得方法、取得価額等について

当社は、センクシアの全株式を既存の株式所有者より取得いたします。

当社は、本件株式取得の取得価額の算定に際し、独立した第三者機関である株式会社 COHEN PARTNERS に依頼し、2026年1月8日に株式価値評価報告書（以下「本報告書」）を受領しております。本報告書の内容を参考に、上記の本件取得価額を決定しております。

なお、本報告書の評価結果は、以下の通りとなります。

| | |
|------|-----------------------|
| 評価手法 | 株式価値 |
| DCF | 69,347 百万円～84,758 百万円 |

(資金調達及び資金使途について)

今回の取組みでは、センクシアの企業価値を約800億円と算定しております。手元資金300億円と、ブリッジローンで500億円を調達し、センクシアの株式を取得するとともに、当社からセンクシアへ資金を貸し付け、既存の借入金を返済します。株式取得後は、保有資産の売却等を行い、財務基盤の強化やブリッジローンの借り換え（リファイナンス）を進める予定です。

また、不測のリスクについては、株式取得後に表明保証（Warranty & Indemnity）保険に加入することで対応いたします。

6. 日 程

| | |
|---------|---------------|
| 取締役会決議日 | 2026年1月15日 |
| 契約締結日 | 2026年1月15日 |
| 株式譲渡実行日 | 2026年2月2日（予定） |

7. 今後の見通し

2026年12月期第1四半期より連結子会社となる見込みのため、2025年12月期の業績に与える影響はございません。2026年12月期の連結業績に与える影響は、2月13日に公表予定の連結業績予想に反映予定です。

以 上

（参考）当期連結業績予想（2025年11月14日公表分）及び前期連結実績 （百万円）

| | 売上収益 | 営業利益 | 税引前利益 | 親会社の所有者に帰属する当期利益 |
|-------------------------|---------|--------|--------|------------------|
| 当期連結業績予想 (2025年12月期) | 116,200 | 19,900 | 19,900 | 14,000 |
| 前期連結実績 (2024年12月期) | 106,539 | 19,897 | 20,437 | 16,120 |